

三月、弥生、花見月
野山の花が散歩に誘う季節になりました。

デイサービス八重桜本店

「節分行事」

一年の福を呼び込むために、豆をまいて恵方巻を丸かぶりする。日本ならではの節分の豆撒きは世界に誇れる文化です。節分の日、八重桜でも豆撒き行事で福招きをしました。豆に見立てたカラーボールをご利用者さまに配って準備は万端。時間になるとともに赤鬼と青鬼が皆さまに襲い掛かります。鬼は外！福は内！掛け声とともに力いっぱい鬼に向かってボールをぶつけます。たまらず鬼は逃げますが、まだまだ飛んでくるボールは多数。終わるころには福でいっぱいになり満たされた八重桜の姿がありました。赤鬼と青鬼は今年も本店が誇る名物職員夫婦のお二人に担っていただきました。常日頃から仲の良さを見せて福を招いてくれるお二人。そのパワーで今年もたくさんの福が招かれますように。



「バレンタインデーイベント」

一年に一度の、全男性が一日中そわそわする日。八重桜でも季節行事としてバレンタインイベントを行いました。当日は女性職員が準備と司会を行い、ご利用者さまへ感謝の思いをプレゼントしました。まずは余興のクイズで、バレンタインは元々は宗教行事だった、他の国では男性から女性へ想いを届ける日である、日本でバレンタインを広めたのは製菓会社である、などのおもしろい場は大盛り上がり。場が和んだところでメインのイベントに。ホワイトボードにハートの飾りを貼っていき、皆さまで一つの大きなハートを作りました。ハートを観ながら特別なおやつを。この日はいつものコーヒーマグがココアに変えられ、バレンタイン気分を楽しんでいただきました。いつも職員に笑顔と元気をくださる皆さまへ、最高の贈り物ができてよかったです。



ウィズコロナでのデイサービス 西 勝康

新型コロナの第八波も治まりつつあるこの頃です。政府はマスクの着用について三月十三日から屋内、屋外を問わず個人の判断に委ねる方針を決定しました。只し高齢者施設に訪問の際や混雑する電車の中、医療機関を受診するときはマスクの着用が効果的だと言っています。そして五月には感染症法の分類が二類から五類へと引き下げられてインフルエンザと同等の扱いとなるということになります。世間の観光

桜の広場

地や飲食店では既にコロナ以前に戻った感もあります。私たちのデイサービスもコロナ禍においては本店以外の大抵の施設では併設する入居者さんのご利用以外の外部の利用者の受け入れは制限せざるを得ませんでした。家にもりがちな要介護の方にとっては貴重な活動と社交の場であり、ご家族にとっては在宅介護から解放されるひとときでもあります。デイサービスは在宅介護を支える重要なサービスのひとつなのです。社会がウィズコロナに向かうなかで私たちのデイサービスだけが社会

と隔絶し続けて良いわけもありません。問題はサービスの提供の仕方と時期と人数なので、人数は外部利用者の方が増えることはむしろ難しいので問題はないと思います。将来的には、今の世間の様子では近い将来ではないでしょう。最も知恵を絞る必要があるのは提供の仕方でしょう。外部からの新規利用者や入居利用者とのデイスタンスであつたり、疎外感のないゾーン分けであつたり、まずはデイサービスの休業日を利用するなど考えてもいかも知れません。どんな環境でも感染リスクはゼロではなく、クラスター防止こそが大切です。これからの私たちはその現実を受け入れながら前に進んでいかなければなりません。リスクとベネフィットを天秤にかけながら最善の選択を心掛けましょう。



デイサービス八重桜 朱雀

【節分】



八重桜朱雀館では寒さも吹き飛ばすよつな一大イベント、「節分豆まき」をしました。今年はどんな鬼さんがやって来たのでしょうか。

最初に「鬼当てクイズ」をしました。三名のスタッフが鬼の面を見つからないように隠し持ち、ご利用者さまは何色の人が持っているかを多数決で決めます。見事正解をされた方は豆を多くもらえようになります。その間にも鬼さんは出番はまだかと待機をしています。そして「鬼さんー」の呼び声で鬼さんが登場します。かなりスリムな鬼さんと少しぼつちやりした赤鬼さんと青鬼さんに、皆さまはこれでもかというぐらいの勢いで豆を投げつけていきます。沢山投げられ参ったと言わんばかりに両鬼さんは見事撃退されました。沢山の笑顔と笑い声に包まれた一日となりました。今年も朱雀館に沢山福が来ますように…。

【バレンタイン】

女性の方から大切な人に思いを込めて…今日はバレンタインイベントを企画しました。チョコレートやクッキーなどを大切な人にプレゼントするという事で、この日はチョコレートのつかみ取りをしていただきました。その前にちよつとした「ハート射撃ゲーム」をしました。紙コップにハート型のデザインで並べて射的をしていただくゲームです。ホレーアカンー当たらない…と悔しそうにされている方も。思ったより難しいと参加したスタッフも話していました。頑張れー！と沢山の声援が聞こえてきました。男性のご利用者さまが終わり次第ゲームは終了し、いよいよチョコレートつかみ取りが始まりました。チョコレートを思いっきり掴み、女性スタッフからプレゼントを受け取った方は思わず笑みがこぼれていました。沢山の色とりどりの可愛いハートが朱雀館を包み込み、笑顔が絶えない素敵な一日となりました。



デイサービス八重桜 押熊

【節分の豆まき】



節分とは「季節を分ける」という意味を持っていて、立春の前日の二月三日に行われるそうです。季節の変わり目に起こりがちな病気や災害を鬼に見立てて追い払うことから、今年も押熊館では豆をまき、鬼退治をしました。

毎年、職員が鬼になっていましたが、今年は少し趣向を変えて鬼のパネルにボールを投げてくださいました。レクリエーションでボールを使ったゲームに参加されているので、大きく開いた口を狙って投げてくださる方も多くいらっしゃいました。いつものゲームのように口にボールが入ると点数が高いと思われる方や、悪いものを追い払うためだとおっしゃる方もいました。皆さまが頑張ってお疲れを忘れて鬼を退治してくださいました。頑張ってお疲れを忘れてご利用者さまは、おやつのおしるこをとても喜んでおられました。

【バレンタインデー】

ハッピーバレンタインー今年も押熊館名物、チョコレートすくい大会を開催しました。

まずは男性のご利用者さまが真剣勝負ながらのチョコすくいを披露され、皆さまの緊張がほぐれてきた頃に女性のご利用者さまに挑戦していただきました。小さいチョコをたくさんすくわれる方、大きめのチョコに狙いを定めてすくわれる方、思いがけずたくさん取れて笑みがこぼれる方など、お一人お一人の個性あふれる和やかなイベントとなりました。

おやつタイムは、ご自身ですくったチョコを前にみなさまとても満足げな様子。「このチョコおいしいわぁ」「えらい大きいのが取れたなぁ」と、楽しそうに会話されている声があちらこちらから聞こえてきました。来月のホワイトデーも楽しみにしていってくださいね！



デイサービス八重桜 平城

〔節分の日〕



まともにもこやかな表情で、楽しんでいただけた様子でした。暖かい春が待ち遠しいですね。

〔チョコレートのつかみ取り〕

バレンタインデーは一般的に「恋人たちの日」として祝われており、恋人や夫婦がお互いの愛を確かめ合う日だそうです。しかし、近年の日本では、性別や愛も関係なくチョコレートの交換を行うほか、自分自身が食べて楽しむために購入する様子も多くみられます。平城館のバレンタインも男女関係なく皆さまにお渡ししました。ただ配るのではなく、少しでも楽しんでいただくために、チョコレートのつかみ取りをしていただきました。ハートの描かれたボックスの中にたくさんチョコレートを用意してありましたが、皆さま、片手でもしっかりと沢山つかまれますので、はたして全員参加できるのだろうかかと職員たちもハラハラさせられました。無事に全員にチョコレートの行き渡り、ひと安心です。チョコレートの箱を楽しそうに覗き込む、ご利用者さまたちの満面の笑顔がみられました。



節分には「季節を分ける」という意味があるそうです。昔から、冬から春へと季節が変わる立春の前日を指して節分と呼ぶわけですが、近年では、節分が過ぎてまだまだまだ寒い日が続きますね。おやつや甘納豆を食べた後、司会者が登場し、節分のなれそめや、節分にまつわるクイズなどをご利用者さまと職員で行い、ひとときの時間を過ごしました。終盤に鬼も登場して、恒例の豆まきももちろん行いました。「鬼は外！」

「福は内！」ご利用者さまが豆に見立てた新聞紙を鬼に投げつけます。鬼の声や皆さまの掛け声でデイルームは大変賑やかでした。最後に、各ご利用者さまと一緒に作った鬼の面と神社のディスプレイ前で鬼と写真を撮りました。皆さまディスプレイ前で鬼と写真を撮りました。皆さまディスプレイ前で鬼と写真を撮りました。皆さまディスプレイ前で鬼と写真を撮りました。



デイサービス八重桜 西奈良

〔節分〕



豆まきの後、中々帰らない鬼と一緒に「まめまき」の歌を歌ったり、最後は和気あいあいと写真撮影しました。サービス旺盛の鬼たちでした。

〔バレンタインデー〕

今年もやってきましたバレンタインデー。西奈良でも毎年謎の美女（実は女装をした男性職員です）が現れ、男性ご利用者さまにチョコレートを配ります。今年で三回目となり、より一層、お洒落に磨きをかけて、いざ男性ご利用者さまに会いに行きます。

大歓声と拍手で迎えられた美女？二人はさっそく男性へチョコレートを配って回ります。突然現れた美女に驚きを隠せない方や、「可愛いな」と絶賛される方、「〇〇さんやる？」とすぐに正体がわかってしまう方がおられフロアは大盛り上がりでした。女性ご利用者さまからも大人気で、チョコレートを渡した後はすぐに写真撮影の希望が殺到し、カメラ係の職員は走り回っていました。皆さまの素敵な笑顔で写真がいっぱいになりましたよ。また来年も楽しみにしていってくださいね！



笑顔

永島 かおり



八重桜平城館に入職して四年目を迎えました。今まで特別養護老人ホームで介護職員としての勤務経験があったので、介助に関してはそれほど不安はありませんでした。しかし、デイスリーブとして働くことは初めて。特に多くのご利用者さまを楽ませるレクリエーションなどは経験したことがなく、「人前で何かするのが苦手な私が本当にできるのだろうか」入職当時は不安の毎日でした。楽しんでもらえるように頑張っていますが今でも不安であります。

でもご利用者さまの笑顔を見ると、私自身も楽しくなってきた力が湧いてきます。「人の笑顔って素晴らしいものだなあ」とつくづく思う日々であります。「笑う門には福来る」。笑顔は免疫力を上げるだけでなく、認知症予防にも効果があります。健康寿命を延ばして元気でいたただける様にこれからも頑張りたいと思います。

そんなこんなで勤めることができています。職場の仲間がいるからではないかと思えます。介護の仕事は一人でできるものではありません。皆さまの協力、助け合いがあつてこそ成立する仕事です。そのおかげで私も日々楽しく仕事ができているのではないのでしょうか。

仕事での疲れを癒してくれるのは、飼っている二匹の犬。毎日仕事から帰ってくる、「ワンワン」と鳴いて迎えてくれます。近所迷惑とは思っていませんが、その鳴き声で私の顔は笑顔になります。

平城館のご利用者さまが自然と笑顔になる職員になりたいと思います。

俳句教室発表句

(敬称を略します)

猿と犬 鳥をお供に どこへゆく 市川 洋子

鬼退治に行きましよう

空強く 力強きに 紅梅よ 林 芳江

空に伸びる梅が綺麗ですね

節分の 豆まきを見て 犬喜び 倉司 壽代

鬼さんとわんちゃん、楽しそうですね

お水とり 済んだらじきに ぬくくなる 川西 楯一

早く暖かくなってほしいですね

ひととせの逢瀬 爛漫 ひなまつり 川井 弘

ぼつと頬が赤くなりますね

土筆んぼ 花のかんざし 春ばかま 津田 千代子

春を待ちわび、おめかししましょう

御水取り 足元てらす お松明 石倉 信雄

壮大な様子を眺めている姿が想起されますね

こころの遊歩道

春風を以て人に接し 秋霜を以て自ら慎む

儒学者 佐藤一斉



八重の家通信 30 日常の風景

八重の家の方は皆さま、毎日の生活の中でご自身のリズムがあり、日課をたてて生活されています。朝、新聞をポストまで取りに来られたり、血圧を測りに来られたり、コインランドリーへ洗濯をしに来られたりと、起床してからそれぞれのルーチンワークをこなしておられます。また、入浴の予約をし、予約した時間にお風呂に入られます。訪問販売も定期的にありますので、決められた時間にお買い物をしに来られます。こうしてみると、一日の生活をご自身のペースで出来るどころと、決まった時間に行う事があります。これは脳への、とても良い刺激になっていると思います。時間を忘れないようにメモされたり、お部屋のカレンダーに記されたり。一日の流れを頭の中で組み立てながら生活されています。こうしたことが皆さまがいつもお元気で若々しくおられる秘訣なのかもしれませんね。

馳せ走る

食の匠のひとりごと

ちらし寿司

西勝康

三月三日は「桃の節句」です。この日に食べるもの一つに「ちらし寿司」があります。なぜ、ひな祭りにはちらし寿司を食べるのでしょうか。

そもそも、日本ではお祝いごとにはお寿司を食べる習慣がありました。「寿司」は「寿」を「司る」という漢字を用います。そこから、おめでたい時に食されるようになりまし。中でもちらし寿司は見た目も華やかで豪華にみえるので、女の子の健やかな成長を願うひな祭りにはぴったりということになったようです。寿し屋さんは年末には正月用の鯖の棒寿司、二月の節分には恵方巻寿司、三月のひな祭りにはちらし寿司と商売の売り上げアップの機会が毎月のようにありますが、これで当分は落ち着いた日々が戻ります。お疲れさまでした。